

広報  
11月号

# 東京都製紙原料協同組合

発行所  
東京都製紙原料協同組合  
台東区台東3-16-1  
TEL (3831) 7980  
発行人 近藤 勝  
編集 広報部



## 東京ゲートブリッジ

今年2月に開通した東京の新たな新名所。全長はレインボーブリッジの約3倍で船から見上げる光景は圧巻です。

### 〈 主 な 内 容 〉

<b>時の視点</b>				
「アジアの古紙マーケット」最近のトレンド (株)ジェーオーピー 取締役会長 早速明生	2	「文京支部」 城南支部長 坂田 智 「足立支部」 千代田支部長 近藤正彦	8	8
<b>時の話題</b>		城南支部バス旅行 城南支部 後藤淳二	9	
現下の産業古紙の市況について 理事長 近藤 勝	2~4	〔組合員紹介〕 荒川支部 藤井康夫	9	
東資協との懇談会	4~5	<b>組合員の広場</b>		
古紙持ち去り問題意見交換会 城北支部 武田誠一郎	5~6	東京タワー・スカイツリー探訪		
清風会ゴルフコンペ開催 清風会幹事 梨本竜範	6	山手支部 脇 令子	10	
青年部と製本二世連合会との交流会 青年部幹事長 梨本竜範	6~7	(株)コンサルティング・オフィスの紹介 取締役 神田幸男	11	
故 皆川昇前理事長を偲ぶ会を開催 広報部副部長 脇 克美	7	<b>支部スケジュール</b>	12	
<b>支部便り</b>		<b>お知らせ</b>	12~13	
第3回・4回支部長訪問		「12月会議・催事予定」「古紙価格」「訃報」「事業部・事業加入状況」		
		<b>会議概要</b> [9月・10月]	14~20	
		表紙の言葉	21	
		<b>編集後記</b>	21	
		広報部副部長 脇 克美	21	
		<b>広告</b>	22	

## 時の視点

### 「アジアの古紙マーケット」 最近のトレンド

(株) ジェーオーピー  
取締役会長 早速 明生

本年6月までの半年間の日本の古紙輸出は、  
主たる輸出先として

中国	1,676千トン
タイ	149千トン
台湾	113千トン
韓国	68千トン
ベトナム	48千トン
マレーシア	6千トン
フィリッピン	2千トン

と言ったところで、合計約2百万トンのうち今まで同様80%が中国向けとなっております。この傾向は相変わらず設備拡張が続く中国の需要が強いため、当分（少なくとも3年）は続くものと思われれます。即ち、中国の古紙需給がアジア全体の古紙市況を決定づけることに変化はありません。しかしながら、中国の日本からの調達、即ち輸入の形態がここ2～3年大きく変化して来ております。即ち、各位もご存じの通り、美国中南を筆頭とする中国人プレーヤーの増加であり、これと前後した日本商社の撤退です。

確かに日本商社は輸出の勃興期（2000年頃）は、行き場のない古紙のはけ口として、また日本古紙の品質の優位性をもって海外市場を広げ、同時に業界団体あるいは古紙業者グループの案内役として、海外メーカーを案内して来ました。

しかしながら一部海外大手メーカーの日本事務所開設に伴う直接買い付け、あるいは海外取引を覚

えた一部古紙業者による直接販売、さらには日本語に堪能な中国人ブローカーによる買い付けと、競争は益々激しくなり“天秤買い”、“天秤売り”と言った状況になって居ります。400万トンの古紙が輸出され精々2ドル残っても6億弱の利益では市況変動による損失、クレームによる損失を考えると、商社としても採算に合わなくなりました。

今後は日本の古紙輸出は価格的にますます中国人による支配が強まり、業界の構造も変わってくると思われれます。遅かれ早かれ海外勢によるヤード経営も出てくるでしょう。

## 時の話題

### 現下の産業古紙の市況について

東京都製紙原料協同組合

理事長 近藤 勝

平成24年10月25日に東京で開催される予定であった静岡県紙業協会家庭紙部会と静岡県製紙原料商業組合と東京協組との3団体懇談会が流会となりました。

そこで東京協組として会議で報告する予定でありました「現下の産業古紙の市況について」を一般社団法人 静岡県紙業協会家庭紙部会宛に下記のような文章で伝えました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

毎年2月、6月、10月の年3回開催されている貴協会、静岡県製紙原料商業組合、そして当組合との家庭紙部会懇談会が、このたび10月25日に東京にて開催する運びでありましたが、今回流会となったことは、市況交換をする貴重な時間がなくなり大変残念でありました。

その席上で、当組合からご説明しようとしていた産業古紙の市況についてお知らせしたいと思しますので、会員の静岡の家庭紙メーカー各社にお伝えしてください。

### (1) 産業古紙の発生状況

① IT デジタル化の進展に伴う紙媒体の減少と、輸入紙流入とそれとともなう価格下落、生産調整により、この8月の紙の生産は70万トンで、前年同月比▲5.8%。出荷は653千トンと同▲10.9%と5ヶ月連続の減少。特に前年同月比2ケタの減少は東日本大震災直後以来。

② 2011年の出版物の推定販売金額は、前年比▲3.8%の1兆8,042億円で7年連続のマイナス。特に雑誌は同▲6.6%の9,844億円。これは14年連続のマイナス。そして27年ぶりの1兆円割れ。

③ 全日本印刷工業組合連合会の会員数は、2011年で5,669社と1985年比で▲50%。

④ 当組合の8月末上物古紙在庫は、前年同月対比▲7%の8,955トンと、初の9,000トン割れ。

上記①～④の数字から、産業古紙発生は年々減少しています。また発生先の転廃業、倒産などで、扱い業者および扱い量が減少しています。

### (2) 古紙価格と輸出環境

新聞古紙価格 静岡着16円/kg

上ケント価格 静岡着2円値下げで

15円/kg

雑誌古紙価格 静岡着14円/kg

込頁価格 静岡着2円値下げで14円/kg

色上価格 静岡着2円値下げで

12～13円/kg

大手メーカーによる段ボール古紙価格は、内外価格差などの関係で、この10月に入り2円値下げの発表が大部分でありました。最大手のレンゴーは現時点では下げていません。新聞、雑誌は、中国の国慶節明けは、米国古紙の上昇もあり、日本品も上昇に向かい始め、年末までは国内古紙価格に匹敵する、もしくは上回る価格帯になってきています。したがって、洋紙・板紙メーカーは下げていません。

また、色上古紙は2円値下げで、回収雑誌の価格を下回ることになり、また上質古紙である、ケント・模造が2円値下げで新聞価格を下回ることとなりました。上物古紙が裾物古紙を下回るとはコストのかかる家庭紙原料の市場原理に添わないことになり、安定供給が継続できなくなります。

### (3) 古紙の需給

当組合の8月末在庫は前年同月比▲7%の8,955トン。9月末は同▲3.4%の9,220トン。特に8月は初の9,000トン割れとなり、問屋の在庫はランニングストックを維持するのがやっとの状態となっております。

流会になった10月25日の市況交換でご報告したかった現下の産業古紙を取り巻く環境、市況は以上の通りです。

年々、古紙の発生は減り、それとともに発生元も減り、むしろ発生元は、この不況下で、古紙を貴重な収入源として計上しています。価格交渉すれば、取引を他社に切り替えられる可能性があるた

め、余剰感がない市況で価格転嫁が容易にできません。

需給は発生減でランニングストック状態となっており、年末の需要期に向けて、発生元から家庭紙に必要な古紙を買い取り確保するため、裾物古紙と区分し、安定供給できるように大事にしてください。手をかけて選別された家庭紙の原料になる産業古紙へのご理解を、今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

## 東資協との懇談会

平成24年9月12日(水) pm4:30～

於) 東資協会議室

参加者：東京都資源回収事業協同組合 12名

東京都製紙原料協同組合 10名

### 【代表挨拶】

#### 吉浦理事長（東資協）

普段、現場等の仕事にお話しできない事などを本日は、ざっくばらんに話し合いたいので宜しくお願いします。

#### 近藤理事長（東京協組）

先日は「皆川前理事長を偲ぶ会」でご協力いただき有難うございました。昨年、今年と欧州問題等があり、ここに来て古紙価格が下がってきております。集荷業者や問屋業者も厳しい状況にあり、私たちの組合も、ここ数年、組合員が減少して厳しい状況となってきております。この厳しさを回収業者と協力しあい、何とか乗り切っていかなければならないと考えておりますので本日は宜しくお願い致します。

## 資源回収業界の動向

リーマンショック後、古紙の回収量が減っていたが、実際にはそれほど減らなかった。今年の半年間でみると全体的には量が減っている。段ボールの発生は地域によりバラツキがある。全体的には減っているが集団回収ではそんなに減っていないようである。新聞は減っている。

依然として持ち去り業者が減らない。警察に通報しても又、違う業者が来る状況。一般家庭ではゴミの意識があり、持ち去りを防ぐのが難しい状況である。一部の区では集団回収を希望している所もあるので、今後、多くの区で集団回収を進めていく考えである。

抜き取り問題については、関東商組と東資協で取り組んでいる。回収業者と問屋業者に対し、持ち去り物を扱わないよう「宣言文」を配り対応しているところである。



## 古紙業界の動向

### ① 古紙全般に関する現況：

#### 赤染直納部長（東京協組）

国内の家庭紙原料は7月21日から8月までに下落した。輸出も下落しており今年の4月以来の内外的格差が広がっている。国内外とも市況は悪く、国内メーカーは古紙原料を抱えており、置き場がないほどびっしりと積んでいる。段古紙では白く変色している物も出てきている。国内メーカーの製品生産が落ちている為、洋紙、板紙メーカー向け古紙価格の下方修正が行われているようである。

段ボールは猛暑で飲料水関係は多少、良かったが、日本からの工業用品の輸出が減少し段ボールの需要が減ったため製品の値下げ、原紙の値下げ、古紙の値下げという状況になっている。輸出向け梱包用段ボールの使用が伸びない。欧米の古紙に比べ日本の古紙は割高感がある。洋紙メーカーは震災以来、売上が落ちており、海外からは20%の輸入紙が入ってきている。中長期的には日本の古紙が使用されると思われるが、現状では厳しい状況にある。

## ② 産業古紙の現況：

### 上田直納副部長（東京協組）

家庭紙メーカーの動向は、現在は製品在庫をかなり持っている。昨年の震災後、消費者の駆け込み需要があった為、1ヶ月で手持ちの在庫がなくなった。富士の家庭紙メーカーでは製品在庫はあったが、物流の手段がなく店頭には届けられなかった。その後、生産を強化し製品在庫を積み上げたが消費が落ちてしまった。現在も先行きは良くない状態である。

特更は、最盛期の半分以下になってしまった。

一番、健闘しているのは少年誌である。マンガは読む人が減れば生産も減る。子供の数は減っているが製品価格は落ちていない。家庭紙ほど悪くない状態。

### 集荷の状況：

#### 松井副理事長・近藤集荷副部長（東京協組）

発生状況が非常に悪い。平均して古紙の発生が減少しており先が見えない。PCやOAの発展により1997年頃から悪くなった。ここに来て電子化や製本・印刷業界の不況も加わりさらに悪くなっている。

製本・印刷業界で以前は、大きい製本会社や印刷会社は自分の所の仕事の一部を中小の他社に廻し

ていた。PC化の影響で旅行や自動車等のパンフレットを個人のPCから印刷してしまうため印刷が減少した。製本会社では工賃が下がっており小さな製本・印刷会社は倒産や廃業に追い込まれている。古紙価格も下落しており集荷業者の利幅が減っているのが現状である。

## 質疑応答

TS－東資協      TK－東京協組

TS・Q：マンガが減ったと聞くが、一般人の目で書店を見ると減ったとは思えないが？

TK・A：売上規模は以前と比べ3分の2くらいに減少している。新刊を次々に発行しているが売れていないのが現状である。返品率も大きく増えている。大手出版社でも赤字経営である。製本・印刷会社では仕事が減っており午前中で仕事を終えてしまう所もある。

## その他

### 雑誌古紙について

現在、本来、雑誌古紙として扱われるのは3割程度である。7割は雑古紙でトラブルが増えている。今後、雑誌を雑紙と2分化するよう古紙センターで検討しているところである。

## 古紙持ち去り問題意見交換会

城北支部 武田 誠一郎

9月14日ホテル・ラングウッドに於いて「古紙持ち去り意見交換会」が開催された。実施主体は7団体でしたが、特に座長が決まっていなかった。そして「識別ステッカー貼付」制度の説明がなされた。

質疑応答では、「青ナンバーにも貼り付けなくてはならないのか。」

「制度前に古紙持ち去り業者のリストを公開すべきではないか。」

「問屋は、古物の許可証を持っているのだから抜き取り業者の品物を買うことは故買になり罰すればいい」等、さまざまな意見が出た。

基本的にこの制度は、「騎虎之勢」のまま見切り発車したように感じられる。

我々、資源業界も登録制として一般廃棄物同様、資源化マニフェストを使用する事により持ち去り業者の排除を考えるべきではないかと思いました。

※ 騎虎之勢<sup>きここのいきおい</sup>

虎に乗った者は途中で降りると虎に食われてしまうので降りられないように、やりかけた物事を、行きがかり上途中でやめることができなくなることのたとえ。

## 清風会ゴルフコンペ開催

### 清風会幹事 梨本 竜範

清風会ゴルフコンペを10月11日(木)に参加者13名で千葉カントリークラブ川間コースにて行いました。前日の天気予報では雨が少し降るかもしれないとなっていました。当日は半袖でプレーして汗をあまりかかないくらいで、風も少なくゴルフをするには快適な陽気でした。会場となった千葉CCは景色がきれいな林間コースで少し曲げると林の中に入ってしまう、セルフプレーなのでコース戦略もセルフというコースでした。この日、私は調子が良いのか悪いのか、球があまり遠くに飛ばないけどあまり曲がらず飛ぶことが多く、一つのホールでたくさん打つことがなくコツコツと進んで行くゴルフになりました。グリーンが速くて、PAR3のショートホールでは1打で乗せて4回パターを打つなど、もったいない失敗もたくさんありましたが、日頃の組合活動でよくお会いしていることもあり、皆さんに優しい言葉でフォローしていただき楽しく前向きにプレー出来ました。

プレー後のパーティーで坂田秀一郎会長の挨拶、そして成績発表となりました。3位から順番に進み1位の発表で出た名前が私、梨本でした。ハンデが26あったので、もしかしたらと思いましたけど、名前が挙がり大変驚きました。このようなコンペで優勝出来る日が来るとは思いもせず、近所の練習場に行っていた甲斐があり結果に表れた気がしました。次回はハンデが減るのですが、また練習して、今回の成績がまぐれと思われないよう精進します。最後の締めを近藤理事長にして頂き、散会となりました。順位は、

優勝	梨本 竜範	(株) 梨本
準優勝	近藤 昌和	(株) ノボル紙業
3位	増田 唯之	(株) 増田商店
ブービー	坂田 秀一郎	(株) 坂田紙業
ベスグロ83	増田 唯之	(株) 増田商店



## 青年部と製本二世連合会との交流会

### 青年部幹事長 梨本 竜範

製本二世連合会と青年部との懇親交流会が10月24日(水)に行われました。この会は毎年10月位に各組合が交互に幹事を担当し、勉強会や食事会などなど行い青年部として年中行事の主要なひとつです。

今回は製本二世連合会の幹事で、事前打ち合わせでは多数の企画が上がり、案内が来たら「スカイツリー懇親会」でした。今年開業した東京スカイツリーを楽しみ、近くの本所吾妻橋にある割烹料理「とんぼ」で懇親会を行うコースです。

集合が18時30分でスカイツリーの下りエレベーターの所に20時に集合して懇親会に向かうので、1時間30分もスカイツリーの展望台にいるのかと思ったら、天気の良い東京の夜景を地上350メートルから観ると、時間の経つのも速く感じ、一通り見たらすぐ定刻になり懇親会場に移動することになりました。

懇親会では製本二世連合会が23名、青年部はほかの会合に参加していた方々が合流し10名になり、賑やかな宴になりました。

今回は当組合が担当幹事なので、青年部員で色々企画を練って今回以上に両組合が盛り上がるようにしたいです。



## 故 皆川昇前理事長を偲ぶ会を開催

広報部副部長 脇 克美

去る7月22日(日)11時30分より上野・精養軒に於いて、東京協組の主催によりしめやかに「故 皆川昇前理事長を偲ぶ会」が執り行われました。

当日は127名の方々のご参列をいただき、祭壇の遺影への献花から始められました。

赤染理事の司会で開式の辞が述べられ、つづいて近藤理事長が実行委員長としてご挨拶をなさいま

した。各団体の代表として全国製紙原料商工組合連合会理事長 栗原正雄様 関東製紙原料直納商工組合 理事長 大久保信隆様 (社)東京都リサイクル事業協会 会長 上田雄健様の御三方がそれぞれ弔辞を述べられました。個人的にも故人と大変親交の深いお付き合いのあった方々の弔辞は、故人の業績については勿論、そのお人柄をも彷彿とさせる大変心温まるお話でした。



そして、当組合を代表して「清風会」会長の坂田秀一郎様が弔辞を述べられました。氏は組合副理事長として永年故人を支え、コンビを組んで組合運営に携わってこられてきたので、数々のエピソードを交えお話頂きました。司会者による弔電奉読の後、(公財)古紙再生促進センター 専務理事 木村重則様により献杯が行われました。

約1時間程の会食後、遺族である故人の奥様、ご長男、皆川商事社長 皆川三彦様よりご挨拶がありました。清水副理事長が謝辞を述べられ、松井副理事長の閉式の辞で散会となりました。ここにあらためて故 皆川昇様のご冥福を深くお祈りいたします。

最後になりましたが、当日いろいろお手伝いいただきました理事の皆様お疲れさまでした。



## 支部便り

### 第3回・4回支部長訪問

今年度より各支部会に他の支部長が訪問します。目的は支部間のコミュニケーションを深め支部の活性化に役立てる事です。

今回は、文京支部に坂田城南支部長が近藤理事長と夏目専務理事と共に訪問し、足立支部には近藤千代田支部長が赤染直納部長と夏目専務理事と共に訪問しました。

以下は訪問した支部長がアンケート形式で答えた感想です。

#### 「文京支部訪問」

城南支部長 坂田 智



訪問日：平成24年10月9日（火）

会場：寿司常本店

参加人数：10名

- ① 雰囲気：和気あいあい
- ② 会場はどんな感じ：良かった
- ③ 理事会の報告：あった
- ④ 協議事項は：産業古紙の集荷コストについて
- ⑤ 懇親会での話題：家庭紙原料の値下げについて。

- ⑥ 同行者の感想：忘年会とは違い支部員同士での話題が市況や仕事関係の話が多かった。
- ⑦ 今回訪問に参加して：良かった
- ⑧ この企画を続けたいと思いますか？：思う
- ⑨ 今回の訪問で感じた事：内容は自分の支部とほとんど変わらない内容でした。

#### 「足立支部訪問」

千代田支部長 近藤 正彦

訪問日：平成24年10月19日（金）

- ① 会場：北千住「銀座アスター」
- ② 参加人数：12名
- ③ 雰囲気：良かった
- ④ 会場はどんな感じ：良かった
- ⑤ 理事会の報告：あった
- ⑥ 協議事項は：市況について（家庭紙原料の値下げについて）
- ⑦ 懇親会での話題：東資協の件
- ⑧ 何か参考になった事：あった
- ⑨ 自分の支部で実行したい事：コンパニオンを呼んでみたいが費用面で難しい
- ⑩ 同行者の感想：大変盛り上がりのある支部会だった。支部員同士での話題が市況や仕事関係の話が多かった。
- ⑪ 今回訪問に参加して：良かった
- ⑫ この企画を続けたいと思いますか？：思う
- ⑬ 今回の訪問で感じた事：支部員の協力なしで支部会は出来ない

## 城南支部バス旅行

城南支部 後藤 淳二

総勢 20 名で台風 17 号が接近の中、房総方面へ新宿、中目黒、五反田にて各組合員を乗せ本当に台風が接近中なのかと思われる天気の中、バスは一路房総方面へ。

まずは酒蔵にて日本酒の試飲。その後農園へ移動し、子供達には待ちに待ったメロンの試食 1/4 カット&メロン狩り。子供達は普段できない体験と甘いメロンの試食に大はしゃぎ。昼食は海鮮食べ放題。浜焼きあり、刺身もありで皆お腹一杯おいしくいただきました。

その後カステラ工房に到着までの間、千葉の名産品を景品にしてのビンゴ大会。カステラ工房ではまた試食。子供達の要望により車中にて再ビンゴ大会。景品がないのでアルコール、お菓子を景品に…。

大山千枚田を車中から見学し、フェリーで久里浜までの予定でしたが台風の為欠航。アクアラインにて帰途。自宅に到着してから突風、大雨の台風の直撃でしたが、バス旅行中はなんとか天候に恵まれ何年かぶりの城南支部のバス旅行でした。

幹事の井出さん、お疲れ様でした。楽しい一日を本当にありがとうございました。



## 組合員紹介

[荒川支部]

株式会社 藤井 <sup>フジイ</sup> 藤井 <sup>ヤスオ</sup> 康夫



- 役 職 : 代表取締役  
 年 齢 : 60代  
 血液型 : AB型  
 体 型 : 大柄  
 似てる人 : 巨人にいた駒田選手  
 業界歴 : 40年  
 何代目 : 2代目  
 他業界歴 : なし  
 趣 味 : ゴルフ  
 取得免許 : 自動車運転免許証 (大型・中型)  
 好きなスポーツ : ゴルフ  
 // 俳 優 : オードリー・ヘップバーン  
 // 歌 手 : ジョン・レノン  
 // 作 家 : 池波正太郎  
 // 学 科 : 日本史  
 // 言 葉 : 優しい  
 // 食べ物 : 玉子焼き  
 愛 読 書 : 北方謙三「水滸伝」  
 嫌いな食べ物 : なし  
 飲 酒 : 何でも飲む  
 タ バ コ : 吸う (パラメント 9mg)  
 お勧めの店 : 温泉宿  
 お勧めの施設 : 伊豆熱川 望水  
 お勧めの場所 : 大箱根カントリークラブ  
 自分の性格 : 明るい

## 組合員の広場

### 東京タワー・スカイツリー探訪

山手支部 脇 令子

広報担当の脇の娘の脇令子です。信用組合のバス旅行で今話題の東京タワーとスカイツリーの見学に行って参りましたのでレポートさせていただきます。

東京に25年住んでいながら東京タワーは15年以上ぶりに行きましたが、当日は天気もよく展望台からはスカイツリーもよく見えました。高さ150メートルの展望台には下を覗き込む迫力満点の窓があり空中散歩を楽しむことができます。大はしゃぎの子どもたちを横目に父譲りの高所恐怖症の私は母に写真係を任せその写真を見て楽しむことにしました。今回は時間がなく高さ250メートルにある特別展望台に行くことが出来なかったのが次回は何卒行ってみたいと思います。

続いて向かったスカイツリーは東京タワーとは違った迫力がありました。夏休み中なこともあり、家族連れが多かったように感じます。一気に地上350メートルの展望デッキまで約50秒で上る分速600メートルのエレベーター、展望シャトルは速さも驚きながら、内装も一基ずつ異なり日本の春夏秋冬がイメージされています。どの季節があたるかは行ってからの楽しみ。展望デッキに着いてからは別のエレベーターに乗り換え展望回廊へ。展望回廊では最高到達点(451.2メートル)地点で大勢の人が写真を撮っていました。スカイツリーにも340メートル地点に東京タワーと同じくガラス床があり記念写真も撮ってもらえますが、150メートルの東京タワーのガラス床ですらへっぴり腰だった私が覗ける訳もなく…度胸のあるちびっ子たちを感心して眺めており

ました。あれだけ度胸のある子どもがたくさんいれば日本もまだまだ安泰ですね。

スカイツリーといえば、おひぎ元のソラマチ商店街もテレビでよく紹介されており皆様ご存知かと思えます。ガイドブックを見て行きたい店をチェックしていたものの、いざ商店街へいってみるとここも行ってみたい、あそこもちょっと覗いてみたい、とあつと言う間に時間が過ぎていました。休憩スペースも至るところに用意されていたのでアイスを食べたり、飲み物を飲んだり、お子様連れから御年配の方まで楽しむことができると思えます。ちなみに私は栃木のとちおとめジェラートがお気に入りでした。また、北海道直送の新鮮なネタを食べることのできる回転寿司もおいしかったのですが、ジェラートやお土産のおやつを食べ過ぎて肝心のお寿司をあまり食べられなかったのが悔しかったです。



今回、東京タワーとスカイツリーという東京の2大タワーを訪れ、日本の伝統や粋を身近に感じました。余談ではありますが私、日本橋にある鯉節専門店に勤務しておりますので、日本の伝統、昔ながらの日本の良さを伝えつつ新しさも加えていくという点で親近感も覚えました。東京タワー、スカイツリーももちろん楽しいスポットですが、日本橋にお立寄りの際はぜひコレド室町1階にあります、にんべんだし場(だしBAR)にて本枯鯉節のおだしでほっこり日本のよさを味わって頂けたら、と思えます。

最後に…日本っていいなあ～(某番組風に)

## (株)コンサルティング・オフィスの紹介

取締役 神田 幸男

株式会社コンサルティング・オフィスの神田幸男と申します。今回、このような機会を頂戴しましたので、弊社の業務に関しまして案内させて頂ければと思います。

経営環境の激しい変化を勝ち抜くために、企業は変革を続けなければなりません。「お客様の存続発展のために、お客様のビジネス（事業）を支援する」、それが経営課題解決支援コンサルティングの使命だと考えています。

弊社の主な経営戦略支援メニューを紹介させて頂きます。

### 1. 事業再構築支援

赤字企業、債務超過で苦しんでいる企業の自力再建を全社員の総力結集と金融機関の協力を得ながら実現していきます。

### 2. 独立採算化支援

全社員が経営意識を持ち働きがいのある職場づくりのために、部門の頑張りが目に見えるわかる仕組みづくりを行います。

### 3. 経営理念策定支援

「我々は何のためにその企業で働くのか」。一般的な美辞麗句型の理念ではなく、全社員の心に響く価値発見型の経営理念の策定支援です。

### 4. 経営計画策定支援

「場当たり経営」から「利益を生み出す計画経営」への転換を図ります。利益計画を軸にした全社的なP-D-C-Aシステムを展開します。

### 5. 中期経営計画策定支援

輝かしい未来の姿を明確にし、その実現に向け

ての全社的な経営計画・方針の策定をバランススコアカード方式で展開します。最近の後継体制づくりのための5ヵ年計画策定のニーズが増えています。

上記以外にも、組合員の皆様が積極的に活用して頂けるコンサルティングとして次のようなプログラムも準備しております。

### 1. 労務管理関係の助成金・補助金の申請代行コンサルティング

従業員の採用や教育訓練などの実施の際には、ご連絡ください。

### 2. 中小企業経営革新計画書の作成代行コンサルティング

低利で長期の運転資金や多額の設備資金が必要となった場合、中小企業経営革新計画書の承認を受けると、信用保険法の特例が受けられるほか、中小企業基盤強化税制の特例が受けられます。

### 3. 就業規則の作成・改訂代行コンサルティング

労働問題が発覚してから就業規則を作成・改訂しても手遅れです。会社を守る就業規則の作成を弊社に任せてください。

経営課題が生じましたら、お気軽にご相談ください。

最後になりましたが、組合員様のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

株式会社コンサルティング・オフィス

取締役 神田 幸男

TEL : 03-5350-3133 FAX : 03-5350-7751

e-mail : kanda@consul-net.co.jp

## ♪ことわざミニ知識♪

「瓜(うり)の蔓(つる)に茄子(なすび)は生らぬ」

ある原因からは、それ相当の結果しか生じない。子は親に似るもので、平凡な親から非凡な子が生まれる道理はない。

同様な意味として「蛙の子は蛙」とか「親が親なら子も子」があるが、反対の意味としては「鳶(とんび)が鷹(たか)を生む」と言う諺がある。

諺は都合よく出来ていて、反対の意味を持つ諺がよくある。

## 支部スケジュール

### 千代田支部

- 支部会 12月 5日(水) 菜の家
- 忘年会 12月 場所と日にちは未定
- 支部会 1月16日(水) 菜の家
- 支部会 2月 5日(火) 菜の家

### 中央支部

- 支部会 1月25日(金) 玉寿司

### 文京支部

- 忘年会 12月10日(月) 根岸「宮川」
- 支部会 2月 8日(金) 寿し常本店

### 台東支部

- 忘年会 11月22日(木) 浅草「とらふぐ亭」

### 荒川支部

- 忘年会 12月10日(月) 四丁目会館
- 新年会 1月 5日(土) 伊豆栄本店

### 足立支部

- 忘年会 12月 8日(土) 北千住
- 支部会 2月23日(土) 北千住

### 山手支部

- 忘年会 12月15日(土) 鮎やなぎ
- 支部会 2月19日(火) 鮎やなぎ

### 城南支部

- 忘年会 11月17日(土) 赤坂離宮
- 新年会旅行 2月2日(土)～3日(日)
- \*場所未定

### 江墨支部

- 忘年会 12月21日(金) まこと寿司
- 支部会 2月20日(水) まこと寿司

### 城北支部

- 忘年会 12月 場所と日にちは未定
- 支部会 2月 8日(金) 場所未定

## ◎第10回組合合同新年会

- 平成25年1月19日(土)
- 午後6時～
- 場所：上野・精養軒

## ◎直納部委員会及び忘年会

- 平成23年12月21日(金)
- 場所：上野・精養軒 2階「あやめの間」
- 午後5時～直納部委員会
- 午後5時30分～忘年会

## お 知 ら せ

### [12月会議・催事予定]

- 12月 2日(日) 第5回関東商組との親睦ゴルフ大会 オークヒルズ・ビ

- レッジカントリークラブ  
8組32名を予定
- 12月3日(月)BCP策定支援(事業継続計画)講習会(pm5:00~)  
組合会議室
- 12月4日(火)共販輸出検討委員会  
(pm1:30~)
- 〃 常任理事会(pm2:00~)
- 〃 理事会(pm3:30~)  
上野・東天紅
- 〃 清風会講演会(pm5:00~)  
清風会忘年会(pm6:00~)  
上野・東天紅
- 12月13日(木)青年部忘年会 上野駅前  
海鮮料理「薩摩魚鮮」  
(pm6:00~)
- 12月21日(金)直納部忘年会  
直納部委員会(pm5:00~)  
忘年会(pm5:30~)  
上野・精養軒 2階「あや  
めの間」
- 12月29日(土)~1月6日(日)  
組合事務局・年末年始休暇

### [古紙価格]

#### [東資協の古紙4品の標準売値]

平成24年10月9日現在

新聞	9円~10円(横ばい)
雑誌	6円~8円(横ばい)
段ボール	9円~10円(横ばい)
色上(並)	6円~8円(横ばい)

### [訃報]

- ・荒川支部：向井産業(株)(代表者 向井欣三様)  
のご令室 向井達子様(享年65)が  
平成24年9月11日ご逝去されました。

- ・荒川支部：吉田紙業(代表者 吉田一茂様)  
のご尊父 吉田 茂様(享年75)が  
平成24年10月3日(水)にご逝去されました。

### お詫び：

9月号の訃報連絡で荒川支部・桜井商店の代表者  
名(漢字)に誤りがありました。

正しくは、桜井栄一様です。

訂正とともにお詫び申し上げます。

9月号で掲載しました「故 皆川昇前理事長を偲  
ぶ会」の中で一部掲載漏れがありましたので再度、  
掲載させて頂きました。

## 事業部・事業加入状況

### (都市近代化推進事業協同組合)

平成24年

- ・ガソリンカード・(株)シマムラ 9月
- ・ETCカード・(株)長井紙業 4月
- ・自動車共済保険・

①(有)坂田亮作商店 1月加入 2台  
保険料 約20%引き

②美濃紙業(株) 10月加入・41台  
保険料 約20%引き

### \*ガソリンカード

全国平均と比べハイオク・レギュラーガソリン  
が約3円、軽油が9円ほど安く購入できます。

### \*ETCカード

ポイントが付く高速道路でポイントが溜まると、  
そのポイント分が無料走行で使えます。

### \*自動車共済保険

現在、割引を受けている保険料から、さらに約  
20%ほどの割引いた保険料となります。

組合員であれば、どなたでもご利用できます。  
お申込、お問い合わせは組合事務局まで。

## 会議概要 [9月・10月]

### 9月度定例理事会

[平成24年9月4日(火)] pm 4:00

於) 組合会議室 出席理事25名・監事2名

#### 近藤理事長挨拶

先日開催しました故皆川前理事長を偲ぶ会には役員の方々に大変ご協力頂き有難うございました。多くの方々から出席して良かったとの声を頂きました事をご報告致します。7月、8月は製本工組との古紙関係協議会、東京返本加工協同組合の総会、直納部の納涼会と行事が続きましたがどれも無事に終了する事が出来ました。市況につきましては7月から8月にかけて、ほぼ全品の古紙が値下がりしました。特に輸出は大幅な下げとなり底が見えておりません。国内は減産により発注量を絞られ、輸出価格は暴落し、集荷、直納を問わず経営が急激に悪化しております。これから年末にかけて、そして来年以降も厳しい状況が続くと思えますが情報交換を密にしながら何とかこの世界不況を乗り切りたいと思っておりますので引き続き組合活動へのご協力をよろしくお願い致します。

#### [各部報告]

##### [総務部]

組合会館の2階のテナントを募集しているが入居者の応募がない。

##### [直納部]

9月度の共販輸出は2社が入札に参加しました。入札の結果は、国内価格より2円低い価格で(株)ジェーオーピーが落札となりました。仕向地は韓国、中国で組合助成金1円の対応有り。業者の報告では、市況は更に悪化の一途をたどり非常に悪い状態が続いています。コート紙の引き合いもか

なり悪い。輸出市場はヨーロッパ、アメリカ物の価格が、かなり下がっている。それに比べ、日本物の価格は、依然として高い状況で、今後、下がるのではないかと予想される。中国の業者は製品在庫と古紙在庫をかかえている。国内メーカーの9月の発注量は良くて横ばい、悪いと15～30%のカットの所もあるようである。国内価格が下がると輸出価格も下がってしまう。今回は先が見えない状況である。10月にもう一段の下げがあるのではとの声も聞かれる。古紙問屋も集荷業者もかなり厳しい状態が続くのではないと思われる。

#### [品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙メーカーは相変わらず製品在庫を抱えている所が多い。古紙在庫についてはメーカーによってバラつきがあるようである。

[段ボール] 発生良くない。

[返本] 返本は横ばいプラスの状態。

#### [集荷部]

発生が少なく仕事が減っている。製本関係からの発生も減っており先が見えない状況である。

#### [広報部]

広報部は9月号の準備をしている。原稿については、すでに依頼してあるが期限までに提出してほしい。「時の視点」では古紙市況の現状と今後について直納部の部長、副部長に原稿をお願いしてある。「時の話題」では静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会、製本工組との古紙関係協議会、東北支援ツアー、故皆川前理事長を偲ぶ会、東京返本加工協同組合の総会、清風会や直納部の納涼会、組合や製本工組とのゴルフコンペ、支部訪問など盛りだくさんの記事を掲載する予定である。「支部便り」では各支部の納涼会、他に組合員の紹介等も掲載されます。支部会のスケジュール等を含め原稿を期日までに提出するようお願いいたします。

#### [事業部]

10月より美濃紙業(株)の使用自動車の半数を

都市近代化事業協同組合が扱っている自動車共済保険に移行する予定である。

#### [青年部]

10月に製本工組の二世連合会との懇談会を開催予定。その打合せをした後、幹事会を行う予定。

#### [近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの再試験を7月11日（水）に実施した。受験者11名は全員合格した。

#### [その他]

・「故 皆川前理事長を偲ぶ会」が7月22日（日）に上野・精養軒で行われた。参加者は127名で内容については業界紙数社が掲載をした。

## 古紙センター関東地区委員会

[平成24年9月19日（水）] pm2:00～  
於）古紙センター会議室

[需要動向] 12/8月 単位トン、  
( )は対前年同月比、在庫の( )は在庫率

#### [関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	63,809(99.2%)
	出荷	62,162(97.8%)
	在庫	12,153(19.6%)
[雑誌]	仕入	51,021(99.4%)
	出荷	50,766(98.9%)
	在庫	8,410(16.6%)
[段ボール]	仕入	130,814(102.0%)
	出荷	129,144(101.6%)
	在庫	14,853(11.5%)

#### [関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	192,760(105.1%)
	消費	207,369(104.8%)
	在庫	162,004(78.1%)
[雑誌]	入荷	100,389(93.1%)
	消費	102,278(99.2%)

在庫 55,733(54.5%)

[段ボール] 入荷 269,857(94.7%)

消費 262,298(97.6%)

在庫 144,445(55.1%)

#### [業者側コメント]

##### [新聞・雑誌・段ボール]

新聞は本文のページ数は若干、増加しているがチラシが大きく減少している。8月の古紙の回収は、段ボールは前年並みだが新聞、雑誌は減少している。9月の古紙の回収状況は、段ボール、雑誌が若干、増加しており新聞は減少している。輸出量は、裾物3品は前年と比べ増加しているが上物が減少している。

##### [上物古紙]

産業古紙は、7月、8月は非発生期。8月の東京協組の44社・上物古紙在庫は、過去1年半前からの期間で最も少ない在庫数である。

##### [メーカー側コメント]

新聞は7月～9月は落ちついた推移。雑誌は特に変化はない。段ボールの生産はきわめて低調。メーカー在庫が高いレベルで推移している。

## 古紙センター業務委員会

[平成24年9月21日（金）] pm2:15～  
於）古紙センター会議室

- [1] 「古紙標準品質規格」及び「オフィスペーパーの分別排出基準」の改定について
  - [2] 集団回収実施団体への感謝状交付について（静岡地区委員会推薦）（中部地区委員会推薦）
  - [3] 平成24年10月～平成25年3月の段ボール、新聞、雑誌の消費計画について（最終ページをご参照ください）
  - [4] 古紙の需要・市況動向について
- \*ページ数の関係で割愛させていただきます。

## 全原連第5回役員会

[平成24年9月21(水)] pm3:45～4:30

於)古紙センター会議室

理事・監事 64名:出席64名

(内、委任出席30名)欠席0名

### (1)古紙再生促進センター 関係

#### ●業務委員会(9月21日開催)

◎平成24年10月～25年3月の段ボール・新聞・

雑誌の消費計画について

段ボール:

24年10月～12月見直計画

1,966,151 t (前年比97.5%前々年比101.3%)

25年1月～3月計画

1,766,147 t (前年比101.7%前々年比99.4%)

新聞:

24年10月～12月見直計画

960,563 t (前年比104.5%前々年比96.7%)

25年1月～3月計画

940,477 t (前年比100.3%前々年比100.8%)

雑誌:

24年10月～12月見直計画

578,260 t (前年比102.4%前々年比100.8%)

25年1月～3月計画

542,501 t (前年比103.6%前々年比105.8%)

◎「古紙標準品質規格」及び「オフィスペーパーの分別排出基準」の改定について

- ・古紙標準品質規格:禁忌品A類の「合成紙」を別項目とし、「ストーンペーパー」を加えるものです。

改定前:

- 5)昇華転写紙(捺染紙・アイロンプリン  
ト紙)、感熱性発泡紙、合成紙不織布

改定案:

- 3)合成紙、ストーンペーパー

6)昇華転写紙(捺染紙・アイロンプリン  
ト紙)、感熱性発泡紙、不織布

- ・雑がみ、オフィスペーパーの分別排出基準  
雑がみ、オフィスペーパーに入れられない紙  
類の「合成紙」に「ストーンペーパー」を加え、  
改定するものです。

- ・「古紙標準品質規格」(改定:平成24年9月  
21日)業務委員会で承認

◎集団回収実施団体への感謝状交付について

- ・推薦地区委員会:静岡地区委員会(1団体)、  
中部地区委員会(8団体)

◎新潟県におけるセンター活動の活性化について

- ・新潟地区懇話会(仮称)の設立について  
対象となる企業:全原連新潟ブロック加盟会  
社他、新潟県内から古紙を  
調達している製紙会社

目 的 :新潟地区向けの古紙統計の  
提供と情報交換(10月1  
日実施)

新潟からの入荷数量は甲信  
越地域からの入荷数量の内  
数として記入する。

開 催 地 :新潟県内で開催する(第1  
回11月)、開催回数:年  
間2回程度とする

役 員 等 :会長及び副会長若干名を選  
出し事務局を設置する

◎今後の日程について

平成24年10月31日(水)14:15～15:15

第6回業務委員会(センター会議室)

平成24年11月28日(水)13:30～14:30

第7回業務委員会(センター会議室)

### (2)全原連 関係

◎審議事項

①古紙持ち去り行為撲滅策の動きについて

\*中部商組「ココセコム」石川理事長より説明

＊関東商組「古紙持ち去り根絶宣言車識別制度」  
実施

目的：古紙持ち去り行為を根絶させるための  
1つの対策として古紙持ち去り根絶宣  
言をした車輛を識別する（識別ステッ  
カー貼付）制度  
実施団体（7団体）：全原連、日資連、  
関東商組、関資連、東京協組、東資協、  
東リ協会

②第2回中日古紙セミナー参加者派遣について

- ・日程：平成24年11月4日～8日(4泊5日)
- 参加：古紙センター（石田理事長）、経済産  
業省（坂本課長）、全原連（栗原理事長）  
全原連からの参加者2名（中部商組、  
近畿商組）の依頼あり、日中問題で中  
部、近畿は参加希望者なしのため、辞  
退したい旨あり、現在中国からは中止  
の話がない。（10月上旬最終決定）

③BIRバルセロナ会議について

- ・日程：平成24年10月28日(日)～30日(火)  
2泊3日
- 会場：プリンセサ・ソフィアホテル(スペイン)
- 派遣人数：3名以内（各単組からの推薦）
- 予算：3名概算 全原連負担金（会議費54  
万円、諸雑費10万円）
- 参加者負担金（航空運賃、宿泊代）
- ・各単組からも推薦がなかったため、今回は全  
原連として派遣を見送る。
- ・平成25年度開催予定  
平成25年5月26日～29日 中国／上海  
平成25年10月27日～29日 ワルシャワ

(3) 各委員会報告

●経営革新委員会（9月7日開催）

①優良性評価事業関係

- ・「日本古紙品質認定制度（J－BRAND）」事  
業進捗状況報告の件

平成24年11月1日より実施（関東地区委  
員会において承認）

- ・「古紙持ち去り行為」の組合員に対し、「古紙  
商品化適格事業所」及び「J－BRANDのラ  
ベル」を同時に停止する。
- ・「古紙商品化適格事業所の「品質管理責任者」  
テキストの件  
品質管理、生産管理を中心に作成しましたの  
で内容等確認した上、意見等ありましたら  
連絡下さい。

- ②「秋の安全作業月間」リーフレット配布、「作  
業安全アンケート」結果及び「ヒアリハット」  
のホームページ掲載

●渉外広報委員会

- ・全原連リーフレット最新版を作成予定。

(4) その他報告事項

＊第8回古紙持ち去り意見交換会について

- ・日時：9月14日（金）15:00～17:00
- 場所：ホテルラングウッド
- 回収車輛識別制度説明資料の内容を確認、古  
紙持ち去り根絶宣言ステッカーを車両に貼  
る等

## 10月度定例理事会

[平成24年10月3日（水）] pm4:00～  
於）組合会議室 出席理事27名・監事2名

**近藤理事長挨拶**

第3次野田内閣が発足し、残念ながら我が組合顧  
問の松原先生は今回交代になってしまいました。  
冷え込んだ日中、日韓関係、円高デフレの解消、  
そして景気対策をしっかりと進めてもらいたいと思  
います。

後ほど直納部長から話があると思いますが、家庭  
紙メーカーが7月に続いて今年3回目の原料価  
格調整を通告してきました。現在はまだ一部メー

カーですが、新聞や雑誌以下の価格になってしま  
うので納入業者側も抵抗している状態です。

組合活動も来週には清風会が開催され、支部長に  
よる支部訪問も年末に向かって順次開催されま  
す。又、今月予定しておりました家庭紙3団体と  
の懇談会の東京開催は中止となりました。引続き  
皆さまのご協力をいただきますよう宜しくお願い  
致します。

#### **[各部報告]**

##### **[総務部]**

組合会館の2階のテナントを募集しているが入居  
者の応募がない。

##### **[直納部]**

9月度の共販輸出は2社が入札に参加しました。  
入札の結果は、国内価格より2円20銭低い価格  
で(株)松本光春商店が落札となりました。仕向  
地はベトナムで組合助成金1円の対応有り。業者  
の報告では、ベトナムの古紙の輸出価格は上昇傾  
向。中国への輸出価格も上昇しているが製品在庫  
は多い様子。穏やかな上昇になるのではないかと  
思われる。

市況全般では、輸出価格は底を打ち若干、戻しつ  
つある。国内では家庭紙メーカー1社から10月  
10日付での原料価格調整2円の通告があった。  
他社からの通告や実施については現在のところ  
ははっきりしていない。東京協組の9月の44社上  
物古紙在庫では1年半ぶりに最も在庫が少ない状  
況となっている。10月25日に東京で予定して  
いた静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会は家庭  
紙メーカーの参加者が少ない為、中止となりまし  
た。裾物については段ボールを中心に10月に古  
紙の価格調整があるかもしれないと聞いている。

9月に予定していた直納部主催の海外メーカー工  
場視察研修(中国・上海)は反日デモの影響で中  
止となった。

#### **[品目別市況]**

**[家庭紙・新聞・雑誌]** 最近の動きでは輸出価格  
は下げ止まったかと思われる。家庭紙メーカーが、  
このタイミングで原料価格調整をすると言う事は  
メーカーが厳しい状況にあるのではないか。利益  
を上げるには古紙価格を下げない事が大事ではな  
いか。下げが実施されると雑誌との価格差がなく  
なってしまう。古紙の発生期ではあるが秋需は盛  
り上がりのない内容になるのではないか。今後、  
輸出に回る古紙が多く出ると思われる。

##### **[集荷部]**

発生が少なく製本・印刷関係も厳しい状態になっ  
てきている。集荷業者としては現在の古紙価格が  
限界で、さらに下がるようだと仕事が成り立たな  
くなってしまふ。

##### **[広報部]**

広報誌の9月号は先月末にお手元に届いたと思  
う。現在は11月号の準備中である。今回の「時  
の話題」は、組合の共販輸取出引業者である(株)  
ジェーオーピーにアジアの古紙マーケットと最近  
のトレンドについて記事を書いてもらう予定であ  
る。「組合員の広場」では2支部から組合員の紹  
介をする予定だが、その他で掲載記事があれば申  
し出てほしい。「支部だより」に関しては城南支  
部の日帰りバスツアーと文京支部と足立支部の2  
支部の支部長訪問を掲載する予定である。掲載記  
事原稿は10月末までに組合事務局に提出する  
ようお願いします。

##### **[事業部]**

10月より美濃紙業(株)の使用自動車41台分  
が都市近代化事業協同組合が扱っている自動車共  
済保険に加入した。

保険料は以前の加入保険料より20%安くなり組  
合にも手数料として8%が入る事となった。これ  
を機会に他の組合員の自動車共済保険の加入が増  
える事を望んでいる。尚、自動車共済保険やガソ

リンカードの新規加入者を広報誌に掲載できたら  
アピールにも繋がると思うので実現してほしい。

#### [青年部]

10月24日に製本工組の二世連合会とスカイツ  
リー見学と懇談会を開催するので希望者を募集  
中。

東京都中小企業団体中央会が主催するグループ戦  
略策定・展開支援事業についての講習会に青年部  
員が中心に出席するよう検討したい。

#### [近代化推進委員会]

IT推進委員会：11月13日（火）に熊本で委  
員会を開催する。議題は①製紙原料の業務ソフト  
のリニューアルについて②導入会社との意見交換。

経営革新委員会：

① J-BRANDについて関東商組で11月よ  
りトライアルを実施する。全国では平成25  
年4月からの実施予定。

②古紙商品化適格事業所の「品質管理責任者」テ  
キスト作成を再度行う。

#### [その他]

組本部では、東京都中小企業団体中央会が主催  
するグループ戦略策定・展開支援事業を10月よ  
り実施予定。

## 直納部委員会

[平成24年10月16日（火）] pm 3:30～  
於）組合会議室 出席委員 17名

#### [静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会中止につ いて]

10月25日（木）東京で予定していた静岡県紙  
業協会家庭紙部会との懇談会が、家庭紙メーカー  
の参加者が少なく開催中止となった。しかし、9月  
に家庭紙メーカー2社から10月より古紙価格の値  
下げの通告があった。この値下げ通告は現在の需

給から考えて問題があるので、東京協組として家  
庭紙部会に対し会議で報告を予定していた「現下  
の産業古紙の市況」を文章で伝える事となった。

#### [家庭紙]

古紙原料値下げに関しては、家庭紙メーカー2社  
以外は10月に入っても足並みが揃っていない。

10月からの2社による古紙原料の値下げは現在  
の需給を無視している。古紙価格は、その時の需  
給バランスにより価格が決まっていくものである。  
今回の値下げが実施されてしまうと、需給バ  
ランスで決まる価格メカニズムが働かず、他の古  
紙価格と比較した場合、合理性がなく産業古紙の  
回収システムが崩れてしまう可能性が強い。

輸入価格は底を打った感じで回復してきている。

#### [各社の動向]

発生は悪い。

在庫はランニングストック状況。

## 集直合同委員会

[平成24年10月16日（火）] pm 4:30～  
於）組合会議室 出席委員 21名

#### [直納部の現状]

産業古紙の発生は悪く、家庭紙メーカー2社の要  
望どおり古紙価格が下がってしまうと家庭紙メー  
カーへ十分な供給が出来なくなってしまう。東京  
協組44社の8月の上物古紙在庫は前年比で過去  
1年半で最も少なく、9月も前年同月比が減少で  
前月比では横ばいである。

#### [集荷部の現状]

発生は悪い。不況による廃業が多く集荷先が減っ  
ている。出版業界は2割くらいの落ち込みである。  
商業印刷の落ち込みが大きく旅行パンフレットや  
チラシが減った。年々、産業古紙の発生が減少し  
ている。

**【集直の見解】**

今回の値下げが実施されると古紙の安定供給や品質の保証が出来なくなる。

需給バランスが崩れ、古紙価格帯から見ても産業古紙は上物と言えなくなってしまう。

**古紙センター関東地区委員会**

[平成24年10月25日(木)] pm1:30～  
於) 古紙センター会議室

**【需要動向】** 12/9月 単位トン、

( )は対前年同月比、在庫の( )は在庫率

**【関東商組32社実績】**

【新聞】	仕入	61,233( 92.8%)
	出荷	60,924( 95.2%)
	在庫	12,462( 20.5%)
【雑誌】	仕入	48,608( 93.4%)
	出荷	49,075( 96.1%)
	在庫	7,943( 16.2%)
【段ボール】	仕入	123,748( 98.9%)
	出荷	125,713( 99.9%)
	在庫	12,888( 10.3%)

**【関東・静岡実績】**

【新聞】	入荷	192,296(106.8%)
	消費	194,825(104.6%)
	在庫	159,475( 81.9%)
【雑誌】	入荷	110,056(101.4%)
	消費	108,217(100.4%)
	在庫	57,572( 53.2%)
【段ボール】	入荷	276,341( 99.5%)
	消費	285,202( 98.6%)
	在庫	135,910( 47.7%)

**【業者側コメント】**

【新聞・雑誌・段ボール】

9月度の発生は3品とも前月と前年同月を下回る量。在庫は低位の水準である。新聞のページ数は

本文が前年より増加しているがチラシが5%ほど減少している。本文とチラシを合わせて若干の増加。

8月の輸出は前年と比べると増加している。特にミックスが大幅に増加している。輸出価格は、このところ1週間ごとにじり高となっている。中国への輸出量も前年と比べ増加している。

【上物古紙】

産業古紙は、9月、10月は発生期でカレンダーや手帳の作成が多いが、年々、減少傾向にある。家庭紙原料は10月初めに一部家庭紙メーカーが値下げを通告してきたが、需給とかみ合っておらず足並みは揃っていない。東京協組44社の9月の上物古紙在庫は、前月並みで相変わらずの低水準の在庫である。

【メーカー側コメント】

新聞は、8月は変化なしで9月～10月は落ちついた状況で推移。今後、新聞用紙、印刷用紙は生産が少なく厳しい状態の見通し。11月以降、減産や発注量減になるかもしれない。

段ボールの9月の生産は、前年を若干下回る量で、10月は前年比で若干、上回るかもしれない模様。前年と比べ伸びがない状況が続くかもしれない。段ボールは薄物化の影響があり、あまり良い状況ではない。古紙は生産や消費が伸びないため在庫が多い状況が続くのではないか。10月、11月の発注は横ばいで年末発注量も伸び悩むのではないかとと思われる。

**古紙センター業務委員会**

[平成24年10月31日(水)] pm2:15～  
於) 古紙センター会議室

[1] 集団回収実施団体への感謝状交付について  
(近畿地区、関東地区、東北地区委員会推薦)

[2] 古紙の需要・市況動向について

\*ページ数の関係で割愛させていただきます。

## 表紙の言葉

### 東京ゲートブリッジ

東京ゲートブリッジは2012年2月12日に開通した東京湾にかかる橋です。



この橋は、年々増加するコンテナ輸送の道路混雑を緩和するため2004年から建設されました。橋の下を大型船が運航できるよう三角形をつなぎあわせたような独特の形状（トラス橋）が特徴です。中央防波堤と若洲地区を結び、全長は2618メートルであるレインボーブリッジの約3倍（海上を跨ぐ区間の長さは1,618mで約2倍）もあります。

天気の良い日には富士山から東京スカイツリー、東京タワーが一望できる眺望スポットです。船から東京ゲートブリッジを見上げるツアーも人気で、早くも東京の新たなランドマークとなるとともに東京の新名所、観光スポットとして人気になっています。



## 編集後記

広報部副部長 脇 克美

「暑さ、寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、あの夏の酷暑はどこへいったやら10月下旬の昨今では朝、晩には寒さすら感じられます。あまりの気候の変化には身体がついて行かないような気がします。年のせいでしょうか？

新聞を読んでも社会面には、理解できない訳の判らない悲惨な記事が載り、政治面、経済面でも、これからこの日本がどうゆう道を歩んでゆくのか、指し示す指導者に欠けているように感じます。思い起こせば20年程前のいわゆる「バブル」には最も縁遠かった私が、リーマン以来の景気低迷に巻き込まれるとは思いませんでした。

唯一、私を和ませてくれるのは最近のスポーツ界です。時期的にアイススケート、サッカーの男女の躍進。レスリング、(吉田 沙保里選手が国民栄誉賞を獲得)等々、この1年いろいろと我々に力を与えてくれたと思います。私が今年一番感動したのは、巨人がクライマックス・シリーズをからくも制し、日本シリーズに進出したことです。私には思い出があります。18年前の10月多分土曜日だったと思います。家族旅行を計画しましたが、私だけは仕事で、夕方一人で車で現地へ向かいました。1人の運転でしたからカセットをかけたか、ラジオを聞いていましたが、その日は中日－巨人の最終戦、ペナントレース同率での戦いでした。車で聞いているうちにだんだんハイテンションになってゆき、勝利の瞬間には思わず1人万歳をしていました。現在、仕事での感激というのをなかなか感じづらくなっているのは私1人ではないように思うのですが。